



建築人

3

2014



大阪ホンマもん

新国立競技場問題の議論が続く中、五〇年前のオリンピック施設の今を知りたくな

り、明治神宮外苑や代々木公園と共に主要会場として整備された駒沢オリンピック公園を訪れた。渋谷駅から田園都市線に乗って約七分、駒沢大学で下車し、十五分ほど歩くと、緑に囲まれた公園が見えてくる。

日比谷公園の三倍の四〇万㎡の広大な敷地は、かつての駒沢ゴルフ場跡地である。

実は、この場所は、幻に終わった一九四〇年の東京オリンピック主会場の敷地でもあった。一九三六年の招致決定時点で主会場に予定されていたのは、後に国立競技場に建替えられる明治神宮外苑競技場だった。

しかし、風致美を破壊すると論陣を張った東京帝国大学教授の岸田日出刀（一八九九―一九六六年）の主張と内務省神祕局の抵抗によって、一九三八年三月、その土壇場で駒沢ゴルフ場跡地に変更され、日中戦争下、当時の東京市臨時建築部が総力を挙げて設計図の作成に取り掛かった。しかし、戦争の泥沼化と日本を巡る国際情勢の悪化によって、同年七月、オリンピックの返上が閣議決定され、あえなく幻に終わる。

続く太平洋戦争下の一九四二年には、空襲に備える防空緑地に指定され、翌年には東京都が買収して都有地になる。そして、一九四五年の敗戦直後の食糧難の時代には、敷地全体が農地に転用された。その後、一九四九年には国民体育大会の会場となり、一九五三年には駒沢球場が造られ、次第に運動公園としての姿を整えていく。

こうして迎えた一九五九年五月、ドイツのミュンヘンで開催された国際オリンピック組織委員会で、一九六四年の第十八回オリンピック開催都市に東京が決まり、晴れて日本で最初のオリンピックの主会場の一つ

として、この駒沢の敷地が再び選ばれたのである。

全体計画は、施設特別委員会の岸田委員長の下、東京大学教授の高山英華（一九一〇―一九九九年）が先行してまとめた基本構想によって進められた。その高山にもオリンピックにまつわる個人的な思いがあった。

サッカー日本代表選手として一九三六年のベルリンオリンピックに出場するはずが、盲腸のために参加できず、一九四〇年の幻の東京オリンピックでは、岸田の下で会場

記憶の建築 松隈 洋

駒沢オリンピック公園 1964 年
広場を核に都市公園をつくる



中央広場の大階段と体育館、記念塔



外周の園路と陸上競技場のスタンド

「駒沢がいちばんよくとしては統一したグラウンドデザイン。（中略）初めっからぼくがマスタープランをつくって、秀島乾君と一緒にやった。彼は日本でいちばん初めてのプランナーなんだよ。満洲から帰ってきてね。早稲田出身で武基雄君や丹下君と同期だ。それで結局造園、道路、建築、全部一緒にいろんなことを。」（宮内嘉久編『都市の領域―高山英華の仕事』株式会社建築家会館一九九七年）

案の図面を描いていたのである。当時は、戦時下に都市計画を志す東京帝国大学の若き助手だった。前後して苛酷な戦場も経験した高山にとって、戦後に平和の祭典として初めて実現するオリンピックには、さぞかし感慨深いものがあつたに違いない。

こうして、高山は、さまざまな歴史を目撃してきた駒沢の地に、都市計画的な方法を存分に持ち込んで、オリンピック後の将来を見据えた都市公園を創ろうとしたのである。後に高山は、次のように語っている。

高山らが目指したのは、オリンピックの主会場にふさわしい晴れやかな施設群を整備しつつも、緑に囲まれた環境の中に各種の競技場が点在し、市民が日常的に憩い、スポーツに親しめる落ち着いた都市公園を築き上げることだった。そこで、敷地の中央に、道路をまたいで南北を貫く幅一〇〇m、長さ七〇〇mに及ぶ軸線上のシンボル・ゾーンを設け、その中心に約一〇〇m×二〇〇mの中央広場と大階段を据えて、両側に陸上競技場と体育館を置く、という

伸びやかなランドスケープを実現させる。そして、公園全体が緑に包まれるように、外周を大きく円形に取り囲む園路を設け、三〇〇〇本の植樹を行ったのである。

また、メイン施設となる陸上競技場の設計者には、すでに東京都体育館を手がけた実績のあった村田政真（一九〇六―八七年）が、体育館と中央広場の造形には、アメリカで「外部空間の構成」について研究して、一九六一年に帰国したばかりだった芦原義信（一九一八―二〇〇三年）が起用される。そして、残る屋内競技場や公園全体の整備については、東京都施設建設事務所長の堀内享一を中心とする都の技術者によって設計を進める万全のチーム体制が採られた。

このような歴史の蓄積と戦争を経験した人々の思いが、時を経て幸福な形で結実したからなのだろう。建設から五〇年を迎えた駒沢オリンピック公園には、今も多くの市民が思い思いに休日を楽しむ光景があちこちに見られた。路面電車の舗石を再利用して敷き詰め、高さ五〇mのオリンピック記念塔と池を配した中央広場には、風揚げやボール遊びに興ずる家族連れがあふれ、その左右を、高さを低く抑えた陸上競技場と体育館が緩やかに取り囲んでいる。また、外周の園路には、豊かに生い茂った並木の下をサイクリングしたり、ジョギングをする人びとの姿があった。体育館の地下には、東京オリンピックメモリアルギャラリーが併設され、五〇年前の同じ場所の記憶を思い起こさせてくれる。来る二〇二〇年五輪のあり方を考えるためにも、すでにここにある風景を見つめ直してほしいと思う。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授、博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

大阪府立大学の学外拠点 I-site なんばに、まちライブラリー@大阪府立大学が生まれました。「本」の集積ではなく、「本を持ち寄る人」や「本にまつわる人」を題材に、本をきっかけとして利用者が主体的に自らの場をつくる試みです。この活動を全国で展開しておられる磯井純充さんに、その事例とともにご紹介いただきます。

本で人とつながる、まちライブラリーの取り組み

磯井 純充

大阪出身。1981年森ビル入社、アーク都市塾、アカデミーヒルズなど長年教育文化活動に携わる。取締役広報室長などを経て2010年森記念財団に出家。個人の立場でまち塾@まちライブラリー活動を開始。大阪府立大学観光産業戦略研究所所長補佐兼客員研究員。

まちライブラリーの仕組み

まちライブラリーとは、本を通じて人と出会う活動である。メッセージを付けた本をカフェ、ギャラリー、オフィス、自宅、お寺や病院など、まちのあちこちに設置した本棚に置き、交換しながらコミュニティ形成を図っている。私が提唱しはじめてから三年余りだが、全国で七〇カ所以上に広がっている。

今回は、誕生の背景と意図、展開されている事例を踏まえ、まちのなかでどのような役割を担えるのかを紹介したい。



誕生の背景 事業拡大の罫

私は、二〇〇三年、六本木アカデミーヒルズという教育文化施設の中に会員制図書館を誕生させた。日本では稀有な有料会員制の民営図書館であり、また六本木ヒルズ森タワーの四九階という立地にある図書館として話題になったのである。現在、会員は約三〇〇〇名にのぼり、事業として一定の軌道に乗っているといえる。

ただ私は、このように成功した活動にも大きな盲点があると考えた。事業規模の拡大に伴い、組織的でシステムの対応が増え、人と人の触れ合いを失い、参加者の顔が見えなくなっていた。また、収益性のある事業が優先され、本来の教育活動の優先順位が低くなった。

このような経緯から、自分でやりたいことは、組織や人に頼るのではなく、自らやらなければと考え、始めたのがまちライブラリーである。

まちライブラリーの事例

事例1…オフィスビル改修事例（大阪市中央区）



大阪市中央区の小規模なオフィスビルの一フロア（約一〇〇㎡）を改修して誕生した。吉野杉を加工し、図書館を創ろうというワークショップで、参加者が手作り本棚やテーブルなど製作し、蔵書も持ち寄りスタートした。現在、蔵書は約四〇〇冊。毎月一回「本とバルの日」を決め、本を持ち寄り、テーマ別のイベントをし、手作り料理を楽しみながら交流を深めている。年齢や立場を超えたコミュニティが形成されつつあり、図書館家族的なものが誕生しつつある。さらに周辺の天満橋、北浜、谷町、鶴橋など上町台地周辺には、約二〇カ所の小規模なまちライブラリーがつけられている。

事例2…カフェ



東京都台東区や墨田区の珈琲店や新宿区の音楽カフェ、大阪市北区のカフェや枚方市の珈琲店に設置している。近い将来、ショッピングセンターにできるカフェでもまちライブラリーが誕生する予定で、地域や施設内のコミュニティ形成に期待が寄せられている。

事例3…お寺



東京都新宿区の新宿三丁目駅近くにある陽蓮寺という小さなお寺には、副住職が作ったまちライブラリーがある。ここでは、毎月開かれる祈願祭という行事に集まる参拝者や、副住職とそのご家族が持ち寄った本が集まり、交換されている。練馬区にあるガーデン型の墓苑や大阪市中央区の圓周寺というお寺にもある。

事例4…自然の中



東京都西多摩郡奥多摩町の鳩ノ巣駅には、二カ所のまちライブラリーがある。一つは駅前のカフェ山鳩で、もう一つは同じく駅前の個人宅の離れにある。Sまちライブラリー@奥多摩は、特にISまちライブラリー@奥多摩は、三〇㎡くらいの部屋を改装した本棚で囲まれたスペースと、広々とした庭があり、本を持ち寄り、自然の中で交流するイベントがたびたび開かれている。「星空のもとで宇宙を語る会」「アウトドア読書&シチュエーション」など、自然を楽しみながら本に触れ、交流が図られる拠点となっている。

事例5…歯科医院

埼玉県越谷市の北越谷駅前にある藤田歯科医院には、大きな本棚に囲まれた待



合室と交流スペースがある。本棚には、スタッフの顔写真が付いた自己紹介メッセージボードがあり、その横にスタッフが紹介する本が集められている。交流スペースでイベントも実施されている。二〇一三年一月二月には、滋賀県湖南市のいしべあい歯科にもまちライブラリーが誕生した。

事例6…大学病院



大阪府守口市にある関西医科大学附属滝井病院に二〇一三年七月、大型の透析センターが開設された。長い廊下の一角に医師や看護師などが推薦する本が並んでおり、患者はこれを持ち込んで透析治療にあたることできる。院内スタッフと患者との距離感を近くする工夫もされ、動物本やミステリー本等に関心のあるグループが形成されつつある。

蔵書ゼロ冊からの図書館

まちライブラリー@大阪府立大学は、二〇一三年四月、大阪市浪速区に開設した大阪府立大学の学外拠点 I-site なんばに設置された。まちライブラリー@大阪府立大学の構想は、同大学観光産業戦略研究所長の橋爪紳也氏と私が大阪府立大学の学外拠点のアドバイザーをしている中から生まれた。I-site な

本を集めるお祭り、植本祭

まちライブラリー@大阪府立大学の開設に際して「植本祭（しよくほんさい）」というイベントを実施した。二日間にわたり四八のワークショップを企画し、参加者はそれぞれテーマに応じた本を持ち寄り紹介し、ワークショップグループごとに本棚に配架した。二日間延べ五〇〇名の参加者が集まり、多くの本が寄贈された。その後も利用登録した人（会員）は、各自小規模なイベントを随時実施することができる。月平均一〇（二〇）位の小規模なイベントが実施され、今も蔵書が集まっている。

このような方式をとった主な理由は、以下の目的を達成するためである。

- ①利用者が主体的に図書館活動へ参画する。
- ②上記活動を通して来訪頻度を上げる。
- ③利用者間の人間関係を築き、コミュニティを醸成する。

ちなみに二〇一三年一月までに登録

された会員は六六七名で、蔵書数は約四三〇〇冊になる。また、実施されたイベントは一七三回にのぼる。

このようにまちライブラリーの活動歴は三年余りであるが、さまざまな地域と形態で展開されて、二〇一三年度グッドデザイン賞（公共のためのサービス・システム部門）やライブラリー・オブ・ザ・イヤー二〇一三年優秀賞を授与されるなど、着実に評価されつつある。

個人の力が地域を輝かす

まちライブラリーは、集客補完や場の活性化、コミュニティ形成など、さまざまな目的でまちの中多種多様な施設に併設されているが、共通して言えるのは、利用者自らが、主体的にその場を活用する仕組みを創ろうとしていることである。過剰なサービスや大規模な宣伝広告で活性させるのではなく、利用者の自発的な意思で運営されていくことを狙っているのである。

巨大化した社会システムの中で、運営者や利用者の顔が見える関係を取り戻し、人の温もりが感じられるようにしようというのがまちライブラリーの活動なのだ。自立した個人が自らの力で行動しやすい環境をつくり、その環境からさらに持続的な活動が生まれることにより、人と人のつながりも生まれ、まちに新たな生活空間が見えてくる。

「組織」の枠を超え、「個人」が生き活きと活動できる環境づくりが、新たなまちづくりの第一歩になればと思う。まちライブラリーがそのお役に立てることを願ってやまない。



まちライブラリー@大阪府立大学



「家族の未来の幸せのかたち」これが私の考える住宅像である。比較的若いご主人が口にしたテーマは「孫が遊びにきてくれる家」だった。子供は厳しく、孫は甘く。子孫まで思う気持ちを形にしようと考えた。土地形状が独特で、それに合わせFの字のプランとしている。南面する庭に開かれたLDKから、将来は両親も暮らせるよう考えた和室、風呂や洗濯室という低層棟がせり出している。プライバシーの確保と、夏の西日を守る意図からである。庭との間には縁側を巡らせ、2階は全てプライベートな空間とした。庭に出たり、縁側に腰掛けたり、それらを回遊したり。25年先の子供たちが走り回る姿をイメージして考えたものだ。

所在地：大阪市住吉区
用途：専用住宅
竣工：2014.1
構造規模：木造2階建
敷地面積：120.26㎡
建築面積：76.85㎡
延床面積：126.93㎡
写真：アトリエ m



敷地は兵庫県芦屋市西部に位置し、地域東辺を流れる芦屋川、周辺には多くの緑が広がる自然豊かな場所である。クライアントはご夫婦が共に仕事をお持ちで一連の家事が順序通りに行えるように動線に配慮した。家にいる間は家族で過ごされる時間が長い為LDKは一体空間とし、スタディコーナーを一角に設け家族の存在を感じるものとした。家族の生活空間と個々の居室空間を中央のテラスが繋ぐ役割をし、外部空間を挟むことで一定の距離感を保ちながら視覚的な一体感を感じる事ができる。外部環境を大きく取り込むことで四季の移ろいを感じ、日常に刺激を与え、伸びやかな空間が子供たちの笑いを運んでくれる。

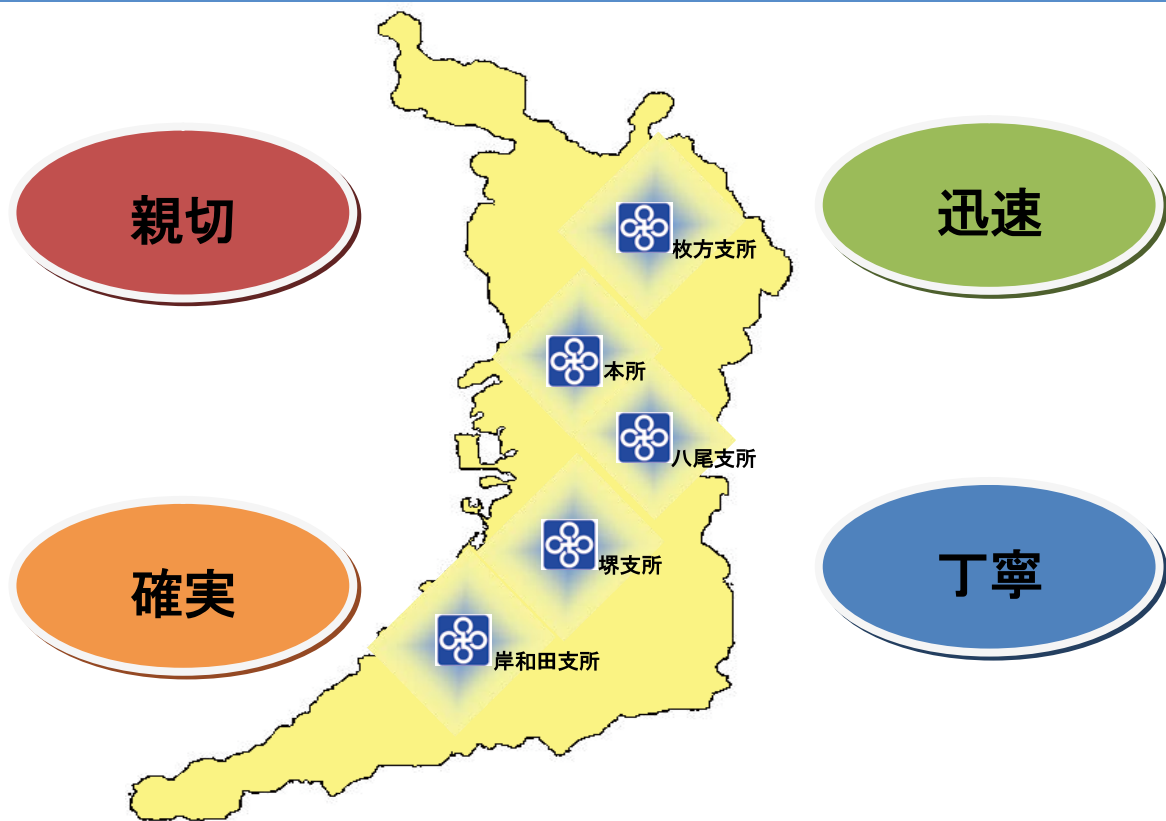
所在地：兵庫県芦屋市
用途：専用住宅
竣工：2013.8
構造設計：木構造建築研究所 田原
構造規模：木造1階建
敷地面積：394.12㎡
建築面積：144.40㎡
延床面積：138.04㎡
写真：松村芳治



一般財団法人

大阪建築防災センター 建築確認検査機構

好きやねんこの街この家！ 守ろう安全 築こう安心。



親切

迅速

確実

丁寧

【業務範囲】

- ◆ 建築基準法に基づく建築確認と検査
- ◆ フラット 35（適合証明）
- ◆ 住宅瑕疵担保責任保険
- ◆ 省エネラベル
- ◆ 低炭素建築物

（まもりすまい保険・JIO 我が家の保険・ハウスプラスすまい保険・あんしん住宅瑕疵保険・ハウスジューメン）

【本所・支所】

本所(中央)	大阪市中央区谷町 3-1-17 高田屋大手前ビル 2 階	TEL 06-4794-8270
枚方支所	枚方市大垣内町 2-5-7 宮村第 2ビル 5 階	TEL 072-861-5088
岸和田支所	岸和田市宮本町 27-1 泉州ビル 3 階	TEL 072-429-3660
八尾支所	八尾市本町 1-4-1 YLB タニムビル 3 階	TEL 072-998-0530
堺支所	堺市堺区新町 3-7 STCビル 4 階	TEL 072-238-8282

【住宅性能評価業務】

一般財団法人 大阪住宅センター分室（本所フロア内）	TEL 06-4790-9717
---------------------------	------------------

理事会報告

文責 本会事務局

日時 二月十九日（水）十六時～十七時三十分
場所 本会会議室
出席 理事三八名、監事二名

（1）会計報告の承認について

一月末日の当期経常増減額は、収益二二三、三六五、二六六円、費用二、三八三、二四一円、増減二、九八二、二四四円を報告して承認された。

（2）収支報告（決算見込み）について

現時点での決算見込みは収支差引約一四〇万円の黒字予測となることを報告した。

（3）平成二六年度予算素案について

平成二六年度の予算素案を取り纏めた結果、収支差引が約△三〇〇万円となり、決算見込みを踏まえて、次回理事会で予算案の承認を得るために運営委を中心に調整することとした。内訳は、会員数減少による会費収入減、府立病院の委託契約年間化、教育の通信制新設、試験の受験者数減、登録者数減、専攻の手数料値下げ等を反映した各委員会からの予算額を根拠とした。

（4）定時総会準備について

正会員の三分の一となる充足数を満たした昨年の会告方法で準備を進める。なお、講演者は建築人表彰の審査委員長である古谷誠章氏（早稲田大学教授）にお願いする。

（5）耐震診断資格者講習実施機関の登録申請について

建築物の耐震改修の促進に関する法律の一部を改正する法律に基づき、本会は「耐震診断を行う者として必要な知識及び技能を修得させるための登録資格者講習の実施機関」として、国土交通大臣に登録申請を行うことを本理事会に諮り、出席役員の全員の同意をもって承認した。

建築相談

建築士の見たトラブル事例（十九）

クレームへの対応とコミュニケーション

編・文 橋本頼幸

今月の「建築相談」コーナーは、相談員の宮崎雅司様に話題提供をいただきました。実は、大きなトラブルに発展するケースとしないケースには、大きな差があるわけではありません。最初の連絡（クレームとは限りませんが）に対するやり取りやコミュニケーションの取り方で、その後の結果が大きく変わります。単純なボタンの掛け違いではまったトラブルをみるたびに、最初のすれ違いさえなければと思うこともしばしばあります。宮崎さんのお話は、電話でのこのような相談から始まります。

「二年弱前に外壁塗装のリフォームをしたが、窓底の鉄板のベンキが剥がれてきた。二年くらいで剥がれるのはおかしいと思い、工事をした会社と連絡をした。しかし窓の庇は、保証の対象外なので有料になるとの返答。契約書を見るとたしかに合成樹脂調合ペイント（SOP）塗装部分は保証の対象から除くと書かれてある。しかし、見積書を確認すると窓の庇は工事の範囲に含まれているし、ウレタン塗装と書かれている。SOPとウレタン塗料は違うものではないか。鉄板への塗装は二年程度で剥がれるものか。」

宮崎さんは、この相談に対して、「SOPとウレタン塗料は違うものですが、鉄部の塗装はモルタルやサイディングなどの外壁への塗装と異なり、一般的に保証の期間は短く二年から三年程度です。水平面で雨が直接当たる屋根などは、自然環境が厳しいのでさらに条件が悪くなる場合があります。また、使われる材料により期間が設定されていることもあります。状況を見ていないので断言はできませんので、工事をした会社に状況を確認してもらって、塗装が剥離した原因について

詳しく話を聞かれてはいかがでしょうか。

電話相談ではこのやり取りで終わっています。

宮崎さんは、この相談を通して問題は、保証の有無ではなく、この施工会社の契約書の文言や相談者との電話対応にあるのではないかと感じたそうです。宮崎さんはこのように続けます。

まず、「SOP塗装分は保証の対象から除く」とあるのは、専門知識のない方には何のことかわからず、建築士ですら鉄部や木部のことだろうなと推測して初めて理解できる程度のもので、SOP（合成樹脂調合ペイント）とウレタン塗料（合成樹脂塗料）とは異なるものであり期待できる耐用年数も異なります。実施にはSOPを使わずウレタン塗料使っていることは間違いではないのですが、仕上がりを見て材料が特定できない一般消費者にとっても保証の内容が理解できるとは思えません。

保証内容を部位で特定せずに材料で指定するのは施工後の保証はないと言っているのと同じことのように思えます。

また電話で「保証の対象外なので有料になる」と言ったようですが、工事の内容も確認せずに契約書だけを見て返答しているのであれば、これも保証はないと言っているのと同じことです。

工事後の相談はクレームと決めつけているような電話での対応や保証をあいまいな表現でばかりです。

こう宮崎さんはお話しになりました。その後この相談者が解決されたかはわかりませんが、最初の工務店への連絡で丁寧な説明ときちんとしたコミュニケーションがとれていれば、また違った形になったでしょう。施工者にとっても大きな機会を損失したのではないのでしょうか。

大阪ホンマもん解説

写真 田龍哲也 文 牧野隆義

「世界の平和を願う。」

大阪ミナミに未来を創造する人物がいた。

昭和四四年（一九六九年）、当時開発の進んでいなかった御堂筋西側に、日限萬里子は小さな喫茶店「LOOP」を開業させる。その後、アメリカの輸入雑貨を扱うお店が増え始め、そこを中心として若者たちが集まり始め、「アメリカ村」という大阪発祥の若者文化のメッカが誕生した。

そんなおり、イラストレーターの黒田征太郎とグラフィックデザイナーの長友啓典が、建物をキャンパスに見立て、昭和五八年（一九八三年）に制作したのが「SPACE ON EARTH」。翼を大きく広げた鳥人が、地球に平和をと問いかける。今となればこの建物も大義を得て、後世に残る作品のキャンパスとなった。（関西電力変電所）

3・11の大震災から立ち直ろうとする日本。

復興のまちづくり、消費税増税前の駆け込み需要、東京オリンピック開催と需要が逼迫し、建築資材及び人件費高騰でミニバブル状態がしばらく続く。しかし、その先に潜む未来の日本から目を背けてはいけない。今一度、世界の平和に貢献できる日本のありように建築士の役割を問いたい。

建築人 3 2014

監修	公益社団法人大阪府建築士会
	建築情報委員会
編集	建築情報委員会『建築人』編集部
編集人代表	米井 寛
編集人	荒木公樹 飯田英二
	筑波幸一郎 中江 哲
	橋本頼幸 牧野隆義
事務局	山本茂樹 母倉政美
印刷	中和印刷紙器株式会社



アステラス製薬 加島事業場 厚生棟

清水建設関西事業本部設計部 鳥居健一、加地則之、阿部香穂里

医薬品研究所の厚生施設建替え計画である。各研究棟に分散している研究者相互のコミュニケーション活性化を主題に、研究者を「動かして」「集める」結節点（ジャンクション）として計画した。

ジャンクション

建物を研究棟群の中心に低く広く配置し、各棟とは渡り廊下でネットワーク状につないだ。また建物を貫通する通路（パサージュ）を2本設けることにより、研究棟間を往来する際には必ずこの建物を通過するしかけとしている。1階にはマグネット効果の高い食堂・カフェを配置し、食事や休憩のみならず、気軽な打合せや思索の場としての利用、コーヒーのテイクアウト、パサージュの通過移動など、複数のアクティビティが交わることで研究者間に新たな交流が誘発され、これまでにはなかったコミュニケーションの拠点となっている。

積み重ねた箱

隣り合う研究棟に相対する壁面には、コンセントレーション（研究）とリラクゼーション（厚生）の見合いを避ける意図で開口を設けていない。開口は2階に切り込んだ5つの屋上庭園に向けて設けており、どの部屋からでも緑が楽しめる豊かで潤いのある空間となっている。また、この切込みが建物のボリュームを分節し、圧迫感を緩和しながら、箱を積み重ねたようなユニークな外観を生み出した。

撮影：フジタ写真工房 第33回大阪都市景観建築賞大阪市長賞受賞作品

■プロフィール

鳥居健一（とりいけんいち）
1981年清水建設株式会社入社
現在 関西事業本部建築設計1部 部長
加地則之（かじのりゆき）
1990年清水建設株式会社入社
現在 設計本部教育文化施設設計部 グループ長
阿部香穂里（あべかほり）
2010年清水建設株式会社入社
現在 関西事業本部建築設計2部
ランドスケープ：フィールドフォー・デザインオフィス

■建物データ

建築主：アステラス製薬株式会社
設計：清水建設株式会社
施工：清水建設株式会社
所在地：大阪府大阪市淀川区加島2-1-6
用途：厚生施設
竣工：2012年1月
構造規模：S造 地上2階
敷地面積：43,859.80㎡
建築面積：3,015.66㎡
延床面積：4,249.90㎡

